

会 議 録

会 議 名	第 2 2 期小金井市公民館企画実行委員の会議 第 2 回		
事 務 局	公民館 本館		
開 催 日 時	平成 2 4 年 9 月 4 日 (火) 午前 1 0 時から午前 1 1 時		
開 催 場 所	公民館本館		
出 席 委 員	小川委員、菅沼委員、野口委員、花淵委員、福井委員		
欠 席 委 員			
事 務 局 員	渡辺社会教育主事、和田主任、渡辺主事		
傍 聴 の 可 否	可	傍聴者数	なし
傍聴不可・一部不可の場合は、その理由			
会 議 次 第	<p>1 企画実行委員の補充について</p> <p>2 主催事業について</p> <p style="padding-left: 20px;">○市民映画会の新体制について</p> <p style="padding-left: 20px;">○子ども体験講座について</p> <p style="padding-left: 20px;">○施設研究講座Ⅲ～公民館事業をつくろう～について</p> <p>3 その他</p> <p style="padding-left: 20px;">○市民講座準備会について</p> <p style="padding-left: 20px;">○シルバー大学について</p> <p style="padding-left: 20px;">○科学の祭典について</p> <p style="padding-left: 20px;">○福祉会館建て替え状況について</p> <p style="text-align: center;">次回日程 1 0 月 2 日 (火) 午前 1 0 時から</p>		

司会 野口企画実行委員

レジュメにありますように、企画実行委員の補充についてから始めたいと思います。

1 企画実行委員の補充について

渡辺（陽）：おはようございます。実は、本館、貫井南分館、東分館で1名ずつ欠員になってしまいました。本館では、岡村さんが体調不良で残念ながら辞退となりました。今後のことですが、各分館で、それぞれどうするかということにもならないので、今日、ここでみなさんにお話しを伺うことになっています。それを受けて全体で補充をするかどうかを決めたいと考えています。

併せて、前回講座の担当が途中になっておりましたので、内容をご説明し、改めて分担を決めていただけたらと考えております。

菅沼委員：この話しを正式に聞くのは今が初めてです。思うことが3点あります。1点目は、1名減でやろうと思えばできるだろうということ。2点目は、企画実行委員は市民が参加する良いチャンスだと考えています。そのチャンスを無にしてしまっても良いのかということ。3点目は、人数が少ないと考え方が偏るのではないか、色々な趣味、考え方を持った方がいた方がバラエティに富んだ内容の講座ができるのではないかと思います。ですから、1名減での体制は、あまり賛成はできないというのが私の意見です。

福井委員：各館の欠員は再度公募するという考えはあるんですね。

渡辺（陽）：もちろんです。基本は募集ということですが。

花渕委員：欠員ですと他の委員の負担も増えるし、補充した方が良いと思います。

小川委員：私も賛成です。

野口委員：私も賛成です。市民の活動ですので、いろいろな人がされた方が良いと思います。

小川委員：この件で、私は市報5月15日号で公民館企画実行委員募集の記事を見たのですが、具体的な企画実行委員の仕事は載っていませんでした。掲載スペース上難しいかもしれませんが、もっと公民館とは何だ、企画実行委員の仕事は何をするのかということをもっと簡略化して載せた方が良いのではないかと思います。

渡辺（陽）：市報のスペースでは難しいと思いますが、月刊こうみんかんとか何か他のもので募集するとか、検討の余地はあると思います。

野口委員：月刊こうみんかんは、自治会で回覧されているので、関心のある方は見えています。

渡辺（陽）：ネットで、市報も「月刊こうみんかん」も見ることができます。

野口委員：では、その問題は全員一致ということで良いでしょうか。

渡辺（陽）：それを踏まえて、前回の役割分担表の欠員のところに、もう1名補充があれば、今の段階でここにお名前を入れていただき、後期をこの体制で進めて行きたいと思っております。

菅沼委員：小川委員は子ども体験講座、子どもの人権講座の二つだけですが、他の講座も担当されたらどうですか。

小川委員：まだ、どのような講座か分からないので勉強中です。

福井委員：これから他の講座に参加されて、様子を見て後期から担当されてはどうですか。

小川委員：二つの講座を担当することになるのですが、事業分担とはどのようなことをするのですか。

渡辺（陽）：まず、準備会を開催している講座に関しては、公募された一般の市民の準備委員の方と一緒に企画をしていただくということですが、また、準備会で決めていただいた担当を行っていただきたいと思っております。例えば、講座の当日の受付や場合によっては、司会なども含みます。講師との交渉は、職員がやりますので、終わった後の反省会に参加していただくということもあります。これが、公民館の事業評価となります。

2 主催事業について

○市民映画会の新体制について

渡辺（陽）：前回も少しお話ししましたが、二つありまして、以前、市民参加の運営委員会方式で行われていましたが、高齢化やだんだん人が抜けて、できなくなってしまいましたが、それを再建できないかということがあります。もう一つは、現在16mmのアナログのフィルムで上映しています。配給体制が、来年度からデジタルに移行されることにより配給会社が非常に少なくなると予想されています。併せて、映写機の部品の配給が終わります。現段階では、まだ大丈夫なのですが、故障した時に修理出来なくなる事が予想されます。上映回数を減らさなくてはならないかもしれないかもしれません。アナログのフィルム作品で、ドキュメンタリー映画など良いものがあります。基本はデジタルに移行しつつもいい作品は、16mm映画上映会も年何回はやりたいと思っております。この二つを踏まえて、来年度の前期ぐらいまでに

目鼻を付けられたらと思っております。

菅沼委員：デジタルでやるとしたら、機材等は違うと思うので、既に予算として取れているのですか。

渡辺（陽）：予算要求したのは、新しく出来ます貫井北町地域センターの天井に備え付けのものと、スクリーン、スピーカーです。

菅沼委員：今しばらくは現状でやるということですね。

渡辺（陽）：平成26年から新体制に移るということになりますので、準備会を設けて行くことになります。

○子ども体験講座について

渡辺（太）：まずこの講座の目的と概要を簡単に説明いたします。目的は、子どもたちが自然の中でいろいろな体験をし、自然の不思議さ、面白さ、大切さを知り、楽しみながら自然への理解を深めることです。概要は、森林インストラクターという資格を持った講師に依頼して、野川の生き物観察、小金井公園で木の実の観察会など年間4回の講座で実施しています。今回は第2回目で9月1日（土）に野川公園で野鳥・虫・草花の観察会を午前9時30分から午前11時30分で実施しました。募集人数30人のところ6家族14人の応募がありました。当日は1家族の欠席の12人（子ども6人、保護者6人）でした。ほとんどの方が初めての参加者で講師の説明にお子さん、親御さんともども感心して聞き入る姿が印象的でした。講座の終わりに間に突然の雷雨に見舞われ、野川公園の管理センターで雨宿りになってしまいましたが、無事終了しました。次回は、11月に小金井公園で実施いたしますので、担当の小川委員にもお声をかけますので、よろしくお願いいたします。

○施設研究講座Ⅲ～公民館事業をつくろう～について

渡辺（陽）：前回の準備会でみなさんから骨組みを出していただきありがとうございました。今の段階は、皆さんにお作りしていただいた内容を、講師の先生全員に校正をしていただいております。この校正が終わりましたら広報に移りたいと思います。市報、月刊こうみんかん等の他に学校にポスターをお願いしたいと思っております。また、地域にチラシの配布ができればと思っております。

花淵委員：地域ということは、貫井北町ということですか。

渡辺（陽）：貫井北町だけではなく、本町5丁目等近隣を考えています。

野口委員：テーマとしては、「公民館ってどういうところ？」「市民協働を学ぶ」などはこれから参加される方などには良いと思います。

○市民講座の準備会について

渡辺（太）：9月27日（木）に午後1時30分から、この学習室Aで行います。なお、準備委員の募集は、市報9月15日号に掲載いたします。担当委員の方は、ご都合方よろしくお願いたします。

○シルバー大学の野外研修について

和田：9月19日（水）に予定しています野外研修（西湖いやしの里）ですが、参加費がかかってしまいます。明日、参加希望者に割引券を配布する予定です。また、昼食も団体で取ると料金が変わってきますので、その件も明日、お話しをする予定です。

○科学の祭典について

渡辺（陽）：2012青少年のための科学の祭典が、9月9日（日）に東京学芸大学で開催されます。この中で「むかし遊びの科学」というコーナーを公民館運営審議会が中心になって出店することになっておりますので、お時間の都合が付けばお顔を見せていただければと思っています。

○福社会館の建て替え問題について

渡辺（陽）：以前報告させていただきましたが、庁内検討委員会で耐震補強をするという方針を決めたのですが、そのあと、市長から建て替えを含めて、もう一度検討が必要という見解が出されて、それを受けて再度検討いたしました。現状は、一覧表を作りメリット、デメリット、予算はどのくらいかかるかということを最終的に庁内検討した後、理事者協議をして判断をして決定することになっております。また逐次報告させていただきます。

野口委員：建て替えるとしたら、他に候補地はあるのですか。

渡辺（陽）：候補として現実的だったのは、本町暫定用地に建てる案が最後まで残っておりました。

菅沼委員：建て替えしなければならない建物は、他にもあると思いますが、この福社会館だけのことを検討したのですか。

渡辺（陽）：福祉会館は、耐震診断の結果、このまま使い続けてはいけないことになりましたので、関係部、課で検討しております。全体の施設計画は、企画政策課を中心に全庁的に検討をしますが、各施設は、それぞれ関係する担当の部、課が中心に検討します。

和田：来年以降、小・中学校の耐震補強、改修があり、そこに予算がかかるので福祉会館の建て替えは、いかがなものかというのが一番の意見らしいです。

以上